

# 富士宮市 富士山火山避難行動マップ

～噴火前から噴火後にかけての行動を確認しましょう～

## 自らの命は自らで守る

このマップを使って、富士山噴火に伴って、自分が住んでいる場所にどのような火山現象(溶岩流、火砕流、噴石)が及ぶのか、事前に確認をしてください。  
そして、万一の場合には、裏面の行動表により適切な行動が取れるよう準備してください。

## 火山災害を正しく知り、備えよう

### 富士山噴火の歴史

富士山は、過去5,600年間に約180回噴火したことが分かっており、平均すると、約30年に1回ものペースで噴火したことになります。ここ300年ほど噴火をしていませんが、一休みしている状態ともいえ、実際に、富士山では、今でも火山性地震がしばしば観測されています。このようなことから、富士山は、いつ噴火しても不思議ではないといわれています。

富士山噴火の歴史を振り返ると、様々な記録が残る噴火のうち、主な大規模噴火として、864年の「貞観噴火」と1707年の「宝永噴火」の2つがあります。

貞観噴火は、富士山北西麓で噴出した大量の溶岩が2か月以上にわたって扇状に広がり、麓の地形を変えてしまうほどでした。青木ヶ原樹海は、貞観噴火により噴出した大量の溶岩の上に長い年月をかけて形成された原生林です。また、現在の「精進湖」と「西湖」は、貞観噴火の溶岩が「せのうみ」という巨大な湖の大部分を埋め、分断することでできました。

宝永噴火は、爆発的な噴火で、富士山東麓には、大量の噴石や火山れき、火山灰が降り注ぎ、須走では、降り積もった火山れきや火山灰の厚さが2メートルにも達しました。また、噴煙は、高度1万メートルにも達し、風に乗った火山灰が千葉県北部にまで達したことが記録されています。

### 富士山噴火の特徴

富士山は、常時、火山活動が監視されていることから、噴火の前兆的な活動を捉えることができる可能性がある一方で、噴火前に火口位置や噴火の規模等を特定することは困難であるといわれています。特に、火口位置については、これまでの調査で、山頂付近だけでなく、山腹や山麓でも火口跡が多く見つかっており、第1次避難対象エリア内に出現することが想定されています。

### 噴火が起こると

富士山が噴火した場合、避難に時間的に猶予のない火砕流や噴石の危険が及び第1・2次避難対象エリアにおいては、噴火前に避難する必要があります。また、溶岩流は、河川と同じように、高いところから低いところへ、谷地形を流れ下る傾向があるため、危険な区域は火口の流域となり、市内全域が避難の対象となるようなことはありません。具体的には、第3～6次避難対象エリアにおいては、同じ避難対象エリア内でも、火口の位置により、避難が必要な地区と、そうでない地区に分かれます。避難が必要な場合には、市の同報無線放送等によりお知らせします。

夜間や悪天候時には、火口や溶岩の流れる方向の確認と避難情報の発信までに時間を要する場合があります。このため、溶岩流が目視できた場合には、避難指示を待たずにご自身の判断で避難する必要があります。

### 避難方法

溶岩が流れる速度は、傾斜が緩やかな場所では、人が歩く程度です。慌てず落ち着いて行動することが大切です。避難の際、沢山の人が車で一気に避難すると、道路で大渋滞が発生し、逃げ遅れの原因となります。

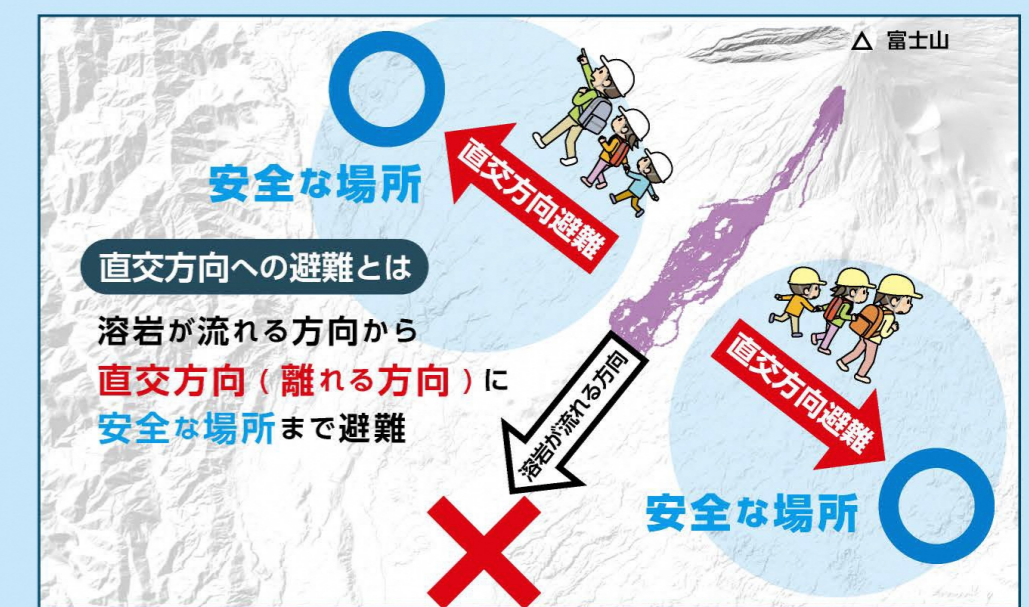
このため、避難に時間的に猶予のない第1・2次避難対象エリアの全ての人が及び第3～5次避難対象エリアの避難行動要支援者\*は車で避難してください。第3～5次避難対象エリアの一般住民は原則徒歩で避難をお願いします。



\*歩くことが困難な高齢者や障がい者など避難に支援が必要な人

### 徒歩で避難する場合

溶岩が流れやすい河川沿いを避け、流れる方向から直交方向(離れる方向)に避難してください。



### いざという時に備えて

避難時の備えとして、下図のような装備と、地震等と同様の持出品・備蓄品を準備しましょう。

#### 装備



#### 持出品・備蓄品



### 避難対象エリア

- 第1次避難対象エリア 想定火口範囲
- 第2次避難対象エリア 火砕流、噴石、溶岩流(1時間以内)到達範囲及び溶岩流の流下により孤立する可能性のある範囲
- 第3次避難対象エリア 溶岩流(1時間～3時間以内)到達範囲
- 第4次避難対象エリア 溶岩流(3時間～24時間)到達範囲
- 第5次避難対象エリア 溶岩流(24時間～7日間)到達範囲
- 第6次避難対象エリア 溶岩流(7日間～約57日間)到達範囲

**火砕流**  
火砕流が発生したときに、高熱のガスが高速で届く範囲です。高温の岩石・火山灰・火山ガスの混合物が斜面を高速で流れ下ります。

**噴石**  
火口から噴出した約20～30cm以上の石が落ちてくる範囲です。風下では、マップに着色されていない範囲でも小さな噴石に注意してください。

- 学校
- 公共施設

